

質問通告・内容（要点）一覧表

議会傍聴者用

質問順	質問議員	通告の標題・内容
1	狩野正雄	◎ 森林環境税と植樹推進による地域整備 森林環境税の徴収が6月から始まり、1人年額1,000円を住民税に上乗せして納付する。また、各自治体にはすでに森林環境譲与税が配分されている。この新税の仕組みと地域づくりへの活用方法は。 1 森林環境税の目的と仕組み、年金生活者を含めた納付方法は。 2 本町に配分される森林環境譲与税の活用計画と地域づくりのプランは。 3 耕地防風林が減少し、街路樹が伐採され、さらには林地を皆伐し砂利原石の採掘が進められている。植樹等による採掘跡地の土地利用促進が必要と思うが、行政として土地所有者に指導や要請を行う考えは。 4 砂利原石の採掘跡地は太陽光発電施設やいちご栽培ハウスなどに利用されているが、未利用の土地も多くある。観光振興策として未利用地の植樹体験（育樹）ツアーを企画し、全国に発信しては。 100年後の完成を目指し、町民の森として整備する考えは。
2	金子孝伸	◎ これからの町づくりに必要なもの 様々な行政サービスや事業、いわゆる「まちづくり」には財源が必要である。 鹿追町は国等の補助金を活用し、有利な条件で財源確保を行いまちづくりへの未来投資を推進してきた。 しかし、近年の世界情勢や社会情勢の変化、経済動向の影響を受け、そのビジネスモデルの効果が薄れていると感じる。 さらなる自主財源の確保、新たな財源の開拓の必要性は鹿追町行財政改革大綱のなかでも取り上げられている。 そして他市町村の積極的な財源確保としての「稼ぐ」行動は各種報道で知るところでもある。 鹿追町における財源確保について以下の2点質問する。 1 鹿追町行財政改革大綱にもある受益者負担の見直しや町有財産の売却等現時点の状況は。 2 「稼ぐ」まちづくりについての見解は。

質問順	質問議員	通告の標題・内容
3	畑 久雄	◎ 町道にそって設けられています各種の標識のその管理、修復、交通安全旗について 標識には除雪、水道、交通安全等あるが、きちんと立っているものや斜め、曲がっているなど本来の目的に合っていないものを数多く見受けられる。 町道 27 号にある ^{ねずみわたるばし} 鼠 渡 橋の欄干が壊れたままや水源地の柵が壊れたままなど観光の町として見苦しいところがある。 交通安全の旗についても、道道と町道との交差点は特に必要であり、十勝型事故の多い郊外への設置が必要と考える。 1 管理は定期的に行われているのか。 2 予算はどのくらいか。 3 交通安全旗を設置する場所について十分に検討されているか。
4	青砥敏一	◎ 公共工事の検査体制について 公共工事にかかる検査体制について質問する。 町発注の工事は、毎年度各種行われ、完了の際は契約等に基づき適正な完了検査が行われ受け渡しを行っている。 平成 30 年に工事発注した認定こども園しかおいは、子育て支援センター、学童保育所を併設した幼保一体化の総合施設として、令和元年 11 月に完成し、12 月から供用が開始された。総工事費 11 億 5,149 万円と多くの財源を投じて建設された子育ての拠点施設であるが、供用開始してから建物の不具合があり、具体的には園舎の雨漏りや内部の壁面にはカビが発生する等の事象があると多方面から聞く機会がある。通常考えると新築された建物において、このような事象は想定できないことである。 1 公共工事における検査の手順は。また、関係要綱等、どのようなものに基づいて実施しているのか。 2 認定こども園しかおいは、中間検査も含めどのように実施されたか。 3 認定こども園しかおいは、完了後、不具合を生じ、修繕が必要な状況にあったのか。修繕を行ったのであればその内容、経過、費用負担は。

質問順	質問議員	通告の標題・内容
5	山口優子	◎ 高齢者などを「置いてきぼり」にしない行政サービスのデジタル化について 自治体においてもデジタル化が求められ、鹿追町役場でもデジタル化、自治体D Xを進めている。鹿追町の自治体D Xの今後の計画について質問する。併せて、町公式L I N E、情報配信アプリミジカ、マイナンバーカードの普及率はどのくらいか。 自治体のデジタル化で重要なことは、地域住民にメリットがあるデジタル化かどうかである。 シニア世代にとってもデジタル化は、災害情報などを得て安全を守る、健康を維持する、社会との接点を持つといった点で重要な役割を果たす。 高齢者をはじめとした「デジタル化不必要」と考える町民の意識を、どのように「デジタル化は必須」と変化させ、自治体デジタル化の土壌を整えるかが課題である。 いずれデジタルに置き換わる行政サービスを鹿追町ではどのような取り組み、対策、計画をもって進めていくのか。